幸せの青い鳥

しあわせだより

H22.8月号 №168

経営理念

1. 地域社会の住生活の満足度をより高める
2. 資産家の収益の最大化を計り、資産価値をより高める
3. 従業員の物心両面の幸せをより高める

経営方針（中期経営ビジョン）

1. 顧客に感動を与える、より高付加価値サービスの提供
2. 顧客へのさらなる満足の提供の為に、経営者及び従業員一同心を高め常に自らを磨く事に努める
3. 常に感謝の気持ちを忘れず利他の心を持ち続け世の為人の為に誠実に行動する

★ 献 血 ★ 体験談

システム部 阿部 絵季華

こんにちは。システム部の阿部です。7月14日は人生で4度目となる献血に行ってきました。前回1台だった献血バスが2台に増え、待つ事無く献血できました。
もちろん今回も400mlの献血です！
献血中、担当していただいた看護師さんから色々お話を聞き、自分の血液がどのように使われているのか初めて知りました。
いつ必要になるか分からない血液だからこそ、常に一定の在庫をストックしておかなければならないのは、大変だと思います。自分も、いつ血液が必要になる状況になるかわかりません。健康なうちは、献血をして少しでも社会の役に立ちたいと思います！

PM事業部 菅原 和江

PM事業部の菅原和江です！
高血圧ですが…7年ぶりぐらいに献血に行ってきました。
巷の噂で血圧の薬を飲んでいる人は無理だよーとの話だったので、暫くは協力できませんでしたが、薬の種類や回数によっては協力できると知り、「ダメもと」で受付をしたところ意外に元気な？血液で400ccも提供できました。「血の気が多いから丁度いいね！！」の声どおり、少しは瞬間穏やかな気持ちになれたかな…

賃貸管理部 笠原 千鶴子

こんにちは、管理部の笠原です。
家族が事故に遭い、手術で2,000ccの輸血を受けました。
骨盤損傷股関節脱臼と骨折で5時間にも及ぶ手術で先生は、大切な血管大動脈を損傷した場合多量の出血となるので4,000ccの血液を準備しましたとお話があり、手術は無事済み、2,000ccで済みました。
この輸血がなかったら、「死亡」の二文字が頭を過りましたが、ありがとうございますの「感謝」の二文字に変わりました。感謝を込めて今回10年ぶりに献血を致しました。
手続きをしている時思ったことは、献血する人が当日、健康でなければ出来ないこと。（当日献血をしたくとも出来ない方がいました。）スタッフの方々が気分良く献血が出来るよう振舞ってくれて、気がまぎれ、「○○サン順調ですよ400cc終りました」と終わった時はとても早く感じました。
皆さん、怖くないですよ！ 献血に愛を持ち人々の為に協力しましょう。

「金持ち大家さん」の日めくり金言集！（スーパーアパマン経営コンサルタント 浦田 健）

「外国人が増える」
2006年から日本の人口は減少に転じたが、在日外国人の数はこの10年で50万人増えている。
毎年5万人のペースだ。外国人を拒絶していた大家さん！
そろそろ外国人にも目を向けた方がいいですよ。

「その問題を先送りしない」
今起こっている問題を先送り、または無視すると、必ず繰り返し、その問題はあなたに襲い掛かる。
目の前の問題は最優先事項として解決に努めなければならない。

不動産投資だより

第46回 『供給過剰だからこそ』

不動産投資アドバイザー 満山ひろみ

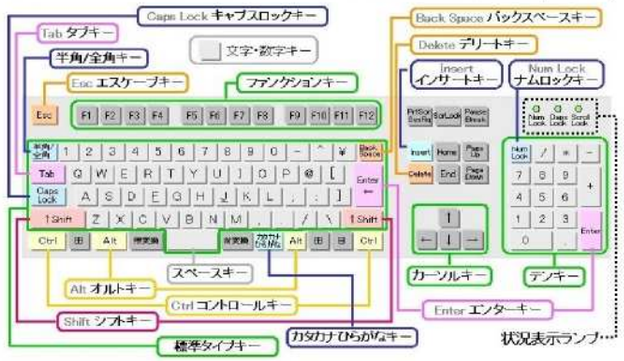
先日、ある投資家様より依頼を受けて、いわき市以外の地域の賃貸状況を調べる作業をしました。そうすると、どの地域でも『供給過剰』という言葉が返って来ました。『空室が多い』=『供給過剰』という簡単な結論ですね。先日の賃貸住宅セミナーで猪俣先生が、横須賀の物件を購入して約1,000万円をかけてリフォームをして賃料アップで満室にしたという話をされました。誰もが見向きもしなかった物件ですが、猪俣先生は、地域の賃貸状況を調査した結果、需要があると判断したというものでした。一般的に言われている供給過剰ですが、需要のないものを提供すれば供給過剰になるのは当たり前で、詳細な地域別・間取り・価格帯を調査してみると、地域別では、まだまだ不足している間取りや価格帯があります。皆さんが所有されている物件で空室が多いようであれば、周辺の状況を調査して、間取りの変更とか思い切ったリフォームを検討してみるのもよろしいのではないでしょうか。また、新築となると、賃料が高いというのが当たり前ですが、当社のハッピーマンションは、新築にしてリーズナブルな価格帯になっているのが人気の一つと言えます。賃貸住宅は、需要と供給のバランスが大切で、ハッピーマンションは需要のあるものを提供しているということです。

家主業でのインターネット活用術

第4回 ～先ずはキーボードとローマ字入力～

システム部 主任 酒井 浩康

第4回目にして「先ずは」と言っている時点で間違っている気がしますが、今度こそ基本中の基本、キーボードの使い方についてお話しします。どうか「今さら」と言わず、お付き合いください。



キーボードは、左図の様に機能によって様々な種類に分類されています。
ファンクションキーと呼ばれるものは、アルファベットの「F（ファンクションの頭文字）」に数字を組み合わせ特殊機能をもたせたキーです。操作の効率を良くする機能が割り振られています。入力中に、F7を押すと、文字が全角カタカナに変換されたりします。そして、CtrlやShift、Altキーは、他のキーと組合せると、特別な機能を使用することができます。これらの機能については、機会があれば順次ご紹介していきたいと思います。

全てを覚える必要は全くありません。文章が打てれば十分すぎると言ってよいでしょう。では、文字入力についてお話していきます。基本は「ローマ字入力です」。ローマ字は『母音』と『子音』の組み合わせです。「A I U E O」（あいうえお）「KA KI KU KE KO」（かきくけこ）といった具合ですね。キーに記載された平仮名をそのまま入力する「かな入力」でも文字は打てます。でも、最初は大変かもしれませんが、ローマ字入力で普段慣らしておけば、最終的に覚えるキーの位置が半分で済みますので、ローマ字入力を覚えることをお勧めします。ローマ字入力で「ぁぃぅぇぉ」といった小さい仮名を入力したい場合は「LA LI LU LE LO」といったように、文字の前に「L」を使います。「ゃゅょ」なら「LYA LYU LYO」です。Little（小さい）「や」だから「LYA」と覚えてしまいましょう。小さい仮名は、基本単独では使いませんので、他の文字と絡めてLを使わずに入力する方法もあります。例えば「にゃ にゅ にょ」は「NYA NYU NYO」で入力可能。「シャチョウさん」は「SYATYOUSANN」ですね。ちなみに「ん」はNが二つ「NN」と入力します。間違いやすい文字として「ず」と「づ」があります。それぞれ「ZU」、「DU」と打ちます。
では、最初の目標として、息子さんやお孫さんにメールを送って、ビックリさせてあげましょう。
というわけで、次回はメールの送り方。近年軽視されがちな、メールのマナーについてもお話します。

株式会社 いわき土地建物